

2019.8 vol.15

みんなの力で浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄をつなごう!

SUBWAY NEWS LETTER

回覧



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 第15号

令和元年度「総会・講演会」を開催!

地下鉄7号線の浦和美園駅から岩槻駅への延伸事業化に向けた国土交通省への認可申請着手の年度内実現を要請

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会の令和元年度総会並びに講演会が開催されました。

開会に先立ち挨拶した江田会長は、この地下鉄7号線の延伸実現に向けての活動も旧岩槻市から含めると、およそ50年猶予の課題となっているなか、既に地下鉄延伸に際する需要予測と費用対効果が、国の補助制度の適用目安を上回ったこの好機を逃すことなく、まずは本年度中の「地下鉄延伸事業化の国への認可申請」の実現を念頭に積極的に事業に取り組んでいきたいとの意欲を示し、出席した関係者に推進活動への協力を呼びかけました。



江田元之会長

総会では、平成30年度の事業報告・決算報告、「国への認可申請の年度内の実現」を目標とした令和元年度事業計画・予算が承認されました。

出席されたさいたま市の清水勇人市長からは、延伸協議会でB/Cと採算性が法適用の一般的な目安をクリアするとの計算が出てきたので、鉄道事業者による事業着手に向かって地下鉄7号線延伸実務担当者会議を立ちあげ、市としても次のステップに向けて進めていくのご挨拶を頂きました。



清水勇人市長

また、講演会では、「地域経済発展と鉄道の役割について」と題し埼玉高速鉄道株式会社代表取締役社長 荻野洋氏より、鉄道とは地域の認知度を高めるために必要とのご講演をいただきました。



講演する埼玉高速鉄道株式会社代表取締役社長 荻野洋氏



さいたま商工会議所 青年部代表によるスローガン唱和

- 開催日 令和元年6月19日(水)午後3時より
- 場 所 ラフォーレ清水園
- 参加者 238名

来賓及び紹介

- | | |
|----------------------|--------------|
| さいたま市長 | 清水 勇人 様 |
| さいたま市議会議長 | 渋谷 佳孝 様 |
| さいたま市議会 総合政策委員会 委員長 | 玉井 哲夫 様 |
| さいたま市議会 まちづくり委員会 委員長 | 新井 森夫 様 |
| さいたま市議会議員 | 江原 大輔 様 |
| さいたま市議会議員 | 吉田 一志 様 |
| さいたま市議会議員 | 松本 翔 様 |
| 蓮田市市長 | 中野 和信 様 |
| 蓮田市議会議長 | 中野 政廣 様 |
| 参議院議員 | 古川 俊治 様 |
| 参議院議員 | 西田 実仁 様 (代理) |
| 参議院議員 | 矢倉 克夫 様 (代理) |
| 参議院議員 | 行田 邦子 様 (代理) |
| 衆議院議員 | 牧原 秀樹 様 (代理) |
| 衆議院議員 | 村井 英樹 様 (代理) |
| 衆議院議員 | 田中 良生 様 (代理) |
| 前衆議院議員 | 武正 公一 様 |

- 祝電 埼玉県知事 上田 清司 様
埼玉県議会議長 神尾 高晋 様

浦和美園駅に横断幕設置

本年度中の「地下鉄延伸事業化の国への認可申請」の実現に向けて更なる機運醸成を図るべく、埼玉高速鉄道協力の協力を得て浦和美園駅改札口に横断幕を設置いたしました。



写真で振り返る平成30年度の主な事業

- 1 人形のまち岩槻まつり
- 2 岩槻やまがきまつりでPR活動
- 3 いわつきマルシェ
- 4 いわつきマルシェのブースの様子
- 5 城下町岩槻鷹狩り行列
- 6 城下町岩槻鷹狩り行列でPR活動



いわつきマルシェ in 目白大学



令和元年度 事業計画

自:平成31年4月1日 至:令和2年3月31日

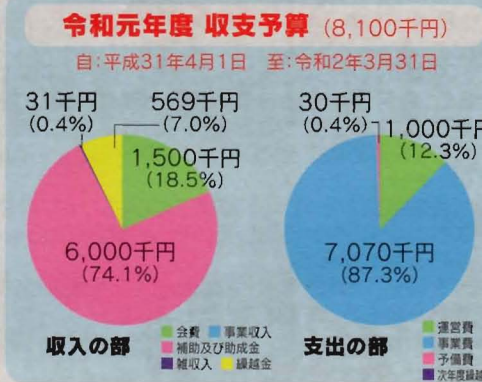
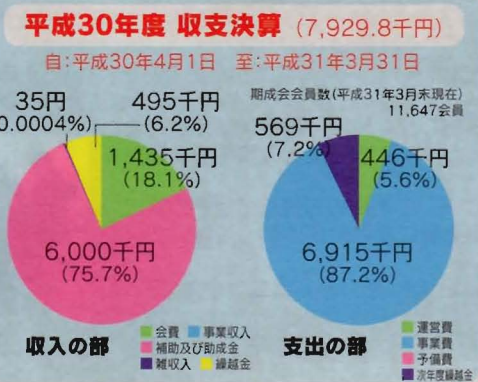
【活動スローガン】国への認可申請の早期実現に向けて

平成30年度では、はじめて短期的な活動目標として「国への認可申請の早期実現に向けて」を掲げ、行政や議会をはじめ、関係機関との協力・連携を図りながら、進捗状況に即した活動を積極的に行った。
特に、昨年において延伸後における需要予測及び費用対効果の数値が大きく前進したことを受け、陳情・要望による働きかけを強めるとともに、「中間駅周辺のまちづくり計画」策定への後押しとして、期成会として構想を策定した。
さらには、延伸実現への重要なタイミングであることから、設立後はじめて決起大会を開催し、目標達成への強い思いを共有する機会創出を行った。
今後は延伸実現に向け、より一層行政や鉄道事業者等、関係機関における調整や決断がポイントとなることを踏まえ、「令和元年度内における国への認可申請の実現」を果たすべく、効果的且つ後押しとなる活動を強力に推進して

いく。
具体的には、継続した陳情・要望活動をはじめ、平成30年度に策定した「中間駅周辺のまちづくり構想」を踏まえ、地域の特性を活かしたまちづくりの推進をはじめ、様々な関係機関等への提案や連携事業の実施、情報交換会の開催の他、延伸実現に後押しとなるあらゆる活動を検討・企画・展開する。
また、会報、ホームページ、タウン誌、ラジオ等々様々な媒体を活用した効率的な情報発信に努めるとともに、認可申請に向けた現状把握や進捗等の報告会、さらには啓発イベントなど、不断の事業展開を実施してまいります。
以上のことから、これまでも増して、さいたま市、さいたま市議会、延伸で繋がる近隣の行政や経済団体等と本期成会が一体となって、延伸事業化の早期実現による、さいたま市の更なる成長と発展に全力で取組むこととする。

- 1 国への認可申請に関する進捗状況の把握・周知と年度内実現への取組み
- 2 陳情・要望・提言活動による働きかけの強化
① 行政・関係機関への継続した陳情・要望・提言活動の実施
② 「中間駅周辺のまちづくり構想」を活かした働きかけの推進

- 3 機運醸成・啓発事業
① 様々なメディア、会報誌、ホームページ等による延伸活動の情報発信
② 関係機関と協働した延伸促進への取組み
③ その他延伸に資する取組み



詳細・お問合せは下記まで

さいたま商工会議所 まちづくり支援課
〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720

●期成会サイト

地下7 延伸期成会 検索
で検索(さいたま商工会議所 ホームページからもどうぞ)



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会



一期成会とは

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。

主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

一期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。

2. 埼玉高速鉄道 (SR) の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには一趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、誰でもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。

また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業員の方は、賛助会員としてご加入 (会費無料) できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会役員名簿

(任期:平成30年4月1日～令和2年3月31日)

役職	氏名	名称・役職
顧問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副会長
	宮本 雅弘	曙ブレーキ工業株式会社理事
	安野 清	株式会社ブルーナ代表取締役社長
会長	江田 元之	さいたま商工会議所相談役
副会長	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所会頭
	筑波 伸夫	さいたま観光協会会長
	小川 逸郎	さいたま商工会議所副会頭
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭
	井原 實	さいたま商工会議所副会頭
	池田 一義	さいたま商工会議所副会頭
	吉田 正信	見沼区自治会連合会会長
	鈴木 甫	緑区自治会連合会会長
	三宅 宣夫	岩槻区自治会連合会会長
	大郷 恒吉	さいたま市商店会連合会会長
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長
	木田 高史	埼玉中央青年会議所理事長
	小澤 日出行	岩槻工業団地事業協同組合理事長
理事	久田 有	浦和大学理事長・学長
	沢崎 達夫	目白大学学長
	久住 眞理	人間総合科学大学学長
	立花 洋一	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長
	森 正志	大宮アルディージャ代表取締役社長
	吉沢 浩之	見沼区長
	木村 政夫	緑区長
	沼尻 裕一	岩槻区長
	山田 祐司	さいたま商工会議所政策委員会委員長
	川村 郁夫	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長
	新井 久夫	岩槻人形組同組合理事長
	齋藤 進	さいたま市野球連盟連合会会長
	浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会会長
	木内 徳雄	さいたま商工会議所青年部会長
	長野 晋陸	さいたま商工会議所岩槻支部支部長
	松永 大祐	さいたま市建設業協会副会長
監事	阿部 順平	さいたま観光国際協会専務理事
	矢部 憲春	さいたま商工会議所専務理事

鉄道今昔物語

第12話

【鉄道の安全】

先日、横浜市を走る新交通システム「シーサイドライン」のターミナル駅で出発列車が逆走り、線路終端にある車止めに衝突する事故があった。

同線は、完全自動運転であり乗務員レスの無人運転の列車が走る路線だ。この無人運転、新交通システムでは採用している路線が散見されるが、鉄軌道ではワンマン運転は見受けられても、無人運転はまだ見当たらない。

最近では山手線が終電後に運転士レスの実験列車を走らせている。将来的に、運転士レスを実現するための実証実験というところだろうか、まだまだ課題も多い。

ところで、我が7号線と東京メトロでも、ワンマン運転の実施とATO (自動列車運転装置) による自動運転が行われている。機会があれば、運転台を覗いてみたい。

運転士は、通常の運転操作はしていない。専ら、ドアの開閉と前方や側面の安全確認に特化

している。もはや、機械的には無人運転を実施しようと思えば、すでに実施できるレベルに近い。

しかし、無人運転はまだ予定されていない。鉄道の現場では、昔から「最後は人の手」という言葉がある。これは鉄道の経験工上から発生した言葉かもしれない。どんなに機械化が進んでも、最後は人の手に頼ることがベストだということだ。筆者は考える。

そうしてみると、無人運転の安全の確保には、まだまだ突っ込みどころが多いというのも事実であろう。冒頭のシーサイドラインの事故も、運転士までとはいわずとも、運転方式を熟知した保安掛などを乗務させておけば、異状に対し速やかな行動がとれたと思えば、被害の最小化が図られたかもしれない。

著者紹介



鉄道ジャーナリスト 渡部 史絵 氏

2006年より公式に鉄道のお仕事を開始。鉄道の有用性や魅力を発信するため、鉄道に関する書籍の執筆や監修に日々励む。月刊誌や新聞等の連載や寄稿など執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。

著書に、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』『電車の進歩細見』『首都圏 地下鉄の秘密を探る』『進化する路面電車』『鉄道なぜにブック』(交通新聞社)、『写真で振り返る JRダイヤ改正史』(飛鳥出版)、『譲渡された鉄道車両』『路面電車の謎と不思議』(東洋館出版)、『鉄道のナゾ謎100』『鉄道のナゾ謎99』『思い出の昭和50年代国鉄特急』(ネコ・パブリッシング) など、多数。7月12日より新著『東京メトロ 知られざる超絶!世界』(河出書房新社)発売中!

公式ブログ <http://ameblo.jp/shie-rail>
公式ツイッター <https://twitter.com/shierail>

当方の勉強の地、米国サンフランシスコの地下鉄も、自動運転を行っているが、東京メトロなどと同じくドア操作と安全確認のため保安要員が乗務している。

洋の東西を問わず、鉄道の安全は「人の手」によって支えられているのだ。

さいたま市・さいたま市議会へ要望書を提出

と き:平成31年1月23日(水)午前10時30分より
場 所:さいたま市長室、さいたま市議会議長室
提 出 先:さいたま市長 清水 勇人、さいたま市議会議長 新藤 信夫

地下鉄7号線 (埼玉高速鉄道線) 延伸の早期事業化実現に向け、1月23日に、清水さいたま市長並びに新藤さいたま市議会議長へ要望書を提出しました。

期成会からは江田会長、清水副会長、当商工会議所からは佐伯会頭、小川副会頭、高橋副会頭が出席しました。

昨年度には、開業後の採算性についても、さいたま市の試算のなかで都市鉄道等利便増進法適用の一般的な目安を上回ったことが公表されました。

一方、東日本大震災の復興関連工事や東京オリンピック・パラリンピック競技会場の建設



市長へ提出



市長集合

や道路改修など、建設費の高騰の影響があるものの、延伸地域周辺の定住人口や交流人口は増加し続けており、埼玉高速鉄道線の延伸に相応しいまちづくりが急ピッチで進んでおります。

こうした発展的な動きがあるなか、延伸の早期決断に向けた働きかけをさらに強めるべくさいたま市およびさいたま市議会へ下記の通り要望書を提出しました。

- ①さいたま市、さいたま市議会、さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会が一体となった延伸の早期事業化の実現
- ②地下鉄7号線延伸の事業着手に向けた早期決断
- ③延伸を目的とした整備基金の拡充
- ④都市鉄道等利便増進法の確実な適用に向け、中間駅周辺の具体的なまちづくり計画の策定
- ⑤延伸関係自治体や鉄道事業者等による「協議会」の早期設置と事業化に向けたタイムスケジュールの明確化



議長集合

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進 決起大会 を開催

開催日:平成31年2月24日(日) 場所:ソニックシティ 小ホール 後援:さいたま市・蓮田市

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会とさいたま商工会議所さいたま城下町構想策定特別委員会では、「地下鉄7号線 (埼玉高速鉄道線)」の延伸に見合う収益効果について、国の一般的な認可基準を満たす「採算性」の確保が得られたことを好機として、延伸の早期事業化実現に向け、機運醸成を図るべく決起大会を開催しました。

当日は、421名の参加者が集まり、盛況のなか、まちづくり講演、基調講演、決起セレモニーが行われました。

まちづくり講演では、昨年12月に策定した「さいたま城下町構想」の礎となる岩槻城と関わりの深い太田道灌公の18代目の子



太田講師



村井講師

孫であり、NPO法人江戸城天守を再建する会 会長太田資暁氏にご講演いただきました。

基調講演では、前内閣府大臣政務官である衆議院議員 村井英樹氏に地下鉄7号線の延伸について政治、行政、鉄道事業者、住民の連携の重要性等、延伸に向けた力強い講演をいただきました。

講演終了後のさいたま商工会議所青年部の村上武白会長の発言による決起セレモニーでは、参加者が一丸となり、地下鉄延伸の早期実現に向け機運を高め、佐伯会頭からは「延伸へ早期に国から事業認可を受けられるよう、引き続き協力して活動していこう」とさらなる協力を呼びかけました。



決起セレモニー

地下鉄7号線 延伸地域 『散策マップ』



地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。

また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム (絵文字) 入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅地域を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。(市内の各区役所窓口等で配布しております)

埼玉高速鉄道(株)と懇談会を実施

認可申請と延伸地域の魅力あるまちづくりに向けて意見交換

平成31年4月4日(木)、埼玉高速鉄道(株)荻野社長との懇談会を実施いたしました。当期成会からは、江田会長、阿部監事、さいたま商工会議所からは、佐伯会頭をはじめ小川副会頭、高橋副会頭が出席しました。

荻野社長からは、認可申請するには、延伸事業化に向けた実務者協議が必要である。さいたま市では、快速運転の実施を含めてB/C (費用便益比) が1を超えるとの試算をしており、快速運転は埼玉高速鉄道としても技術的に可能であるが、快速運転は鉄道事業者として利益につながるのであれば実施する。実施しなくとも、中間駅周辺地域のまちづくりを進めることでB/Cが1を超えることが可能との考えである、との積極的な意見をいただきました。

佐伯会頭からは、中間駅周辺のまちづくり構想においても駅の設置場所とその周辺のまちづくりについて講じている、と地域のさらなる発展に向けた延伸の必要性について荻野社長へ伝えました。

今後も、地域の発展・活性化という共通の目的に沿った、魅力あるまちづくりについて意見交換を行っていくこととしました。



第5回 いわつきマルシェ

In 目白大学

地元食材を使って多世代で食文化交流を楽しむ

●岩槻産獲れたて食材を使った地元団体の出展 ●地元農家による新鮮野菜販売

開催日
令和元年 10/27 (日) 10時30分～15時00分 (予定)

会場 目白大学 岩槻キャンパス オープンエアステージ